

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルホームひまわり 桜木		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの特性を理解した支援が行われていること 個別支援計画に基づき、子どもの課題に応じた支援が行われていること 子どもが安心して通所し、活動を楽しみにしている様子が見られること 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の活動のなかで子どもの様子を丁寧に観察し、保護者とも情報共有を行いながら支援方法を検討している。個別支援計画の作成や担当者会議等を通して、子どもの課題やニーズを整理し、具体的な支援方法を設定している 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修や情報共有を通して支援の専門性を高め、より一人ひとりの特性に応じた支援ができるように努める
2	<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムが工夫されており、さまざまな活動や外出の機会が設けられていること 子どもが楽しく過ごせる環境作りが行われていること 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容が固定化しないよう、外出活動や季節の行事等を取り入れながら子どもが楽しみながら参加できる活動を企画している 子どもの興味関心や発達段階に合わせた活動内容を意識している 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も子どもたちが楽しみながら成長できるよう、活動内容の充実や新しい取り組みの検討を行っていく
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との情報共有や相談対応が丁寧に行われているところ 事故や怪我があった際の連絡や説明が丁寧であるところ 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳や送迎時のやりとりを通して、子どもの様子を保護者へ丁寧にお伝えしている 相談や申し入れがあった際には、迅速に対応できる体制作りをおこなっている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も保護者とのコミュニケーションを大切にし、必要に応じて情報発信の方法や機会の充実を図っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容や事業所内の様子が保護者に十分伝わっていない場合があること 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の連絡帳や送迎時のやりとりを中心に情報共有を行っているため、活動の全体像や事業所内での様子が十分に伝わりにくい場合があることが要因として考えられる 保護者の方が実際の活動をご覧になる機会が少ないことも一因として考えている 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子や取り組みについて、連絡帳や情報発信等を通してより分かりやすくお伝えできるよう努めていく
2	<ul style="list-style-type: none"> 建物の構造上、段差や階段があり、バリアフリー面で十分と言えない部分があること 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の建物を活用しているため、構造上すべての場所をバリアフリー環境とすることが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりの特性や身体状況に応じて安全に配慮しながら、より安心して利用できる環境づくりに努めていく
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流や家族向け研修等の機会が十分とは言えない部分があること 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の皆さまの生活状況や参加のしやすさへの配慮から、保護者同士の交流会や家族向け研修等の開催機会が限られていることが要因として考えられる 必要性の感じ方が各家庭で異なることも背景の一つとして捉えている 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者のニーズを踏まえながら、情報提供の機会や家族支援の在り方について検討していく